

案件(1) 金剛バスの廃止に伴うレインボーバスの運行計画（案）について

1 ページ

目次です。

2 ページ

はじめに、1. レインボーバスの東條線への活用について説明します。

レインボーバスの東條線への活用効果について、主に、

- 東條線全体の便数の増加
- 通勤・通学需要の確保
- 東条小学校の児童の通学への対応
- こんごう福祉センターの教職員の通勤への対応
- 富田林支援学校の生徒の通学への対応
- 甘南備地区（右梓）への路線の確保

などが期待できるもので、特に、7～8 時台及び 14～18 時台の朝・夕の時間帯で必要となると考えております。

3 ページ

次に、2. レインボーバスの現行の運行ダイヤについて説明します。

現在の主な内容は、資料内の橙の枠に記載のとおりです。

現行のダイヤは、令和5年9月1日に改正したところです。

（レインボーバスの運行ルートと時刻表は、下図及び下表のとおり。）

4 ページ

次に、3. レインボーバスの運行計画（案）の検討について説明します。

新・レインボーバス（案）は、金剛自動車のバス事業廃止に伴い、東條線の補完のための暫定的な措置とします。

現行レインボーバスとの違いは、運行時間帯及び運行便数で、10時台～14時台で、現行の3便～5便の運行を予定しております。

この運行計画（案）は、令和5年12月21日以降に実施するものです。

以上です。